

国立公園満喫プロジェクト展開事業について

日本の国立公園について「ナショナルパーク」としてのブランド化を目指し、インバウンド対応の取り組みを展開することで、2020年までに国立公園を訪れる訪日外国人を1,000万人にすることを目標とした事業。

環境省が選定した国立公園で実施するもので、瀬戸内海国立公園六甲地域は平成29年11月に選定され、神戸市と神戸観光局が事業主体となって2カ年で実施。

1 平成29年度の取組

- (1) 多言語トレイルマップの作成（英語・韓国語・繁体字・簡体字）
- (2) 日本在住の外国人モニター（英・伊・豪・米・台）を対象に六甲・摩耶の観光スポット等を巡るモニターツアーの実施

2 平成30年度の取組

29年度の成果を踏まえ、六甲山の特性を生かした魅力あるコンテンツの開発やそれらの商品化、海外向けプロモーションを実施

(1) コンテンツ開発について

六甲山再生委員会観光振興部会やその中に設置したワーキンググループにおいて、インバウンドをターゲットとしたコンテンツづくりに向け、山上事業者や地域団体が実施可能なアイデアを出し合い、それに基づき議論を実施

<コンテンツ例>

名称	内容
ミシュラングリーンガイド星めぐりツアー	六甲高山植物園や天上寺、掬星台など、ミシュラングリーンガイドに掲載された山上スポットをガイド付きで巡るツアー
近代化産業遺産建築と近代建築トレッキング	ヴォーリス六甲山荘や風の教会など、六甲山上の名建築をガイド付きで歩いて巡るトレッキングプログラム
摩耶山・マヤ遺跡ガイドウォーク	旧摩耶観光ホテルや旧天上寺跡など、摩耶山に数多く残る史跡・施設跡等をガイド付きで歩いて巡るプログラム
坐禅と禅ヌードル	天上寺境内の案内、寺の歴史解説と座禅体験。体験後は禅宗の精進料理と関係が深い「はるさめ」を使ったスープを提供するプログラム

(2) スケジュール

商品化に向けて議論・調整を進め、本年12月までには販売を開始併せて、旅行会社の販売ツール等を活用し、海外向けプロモーションを展開